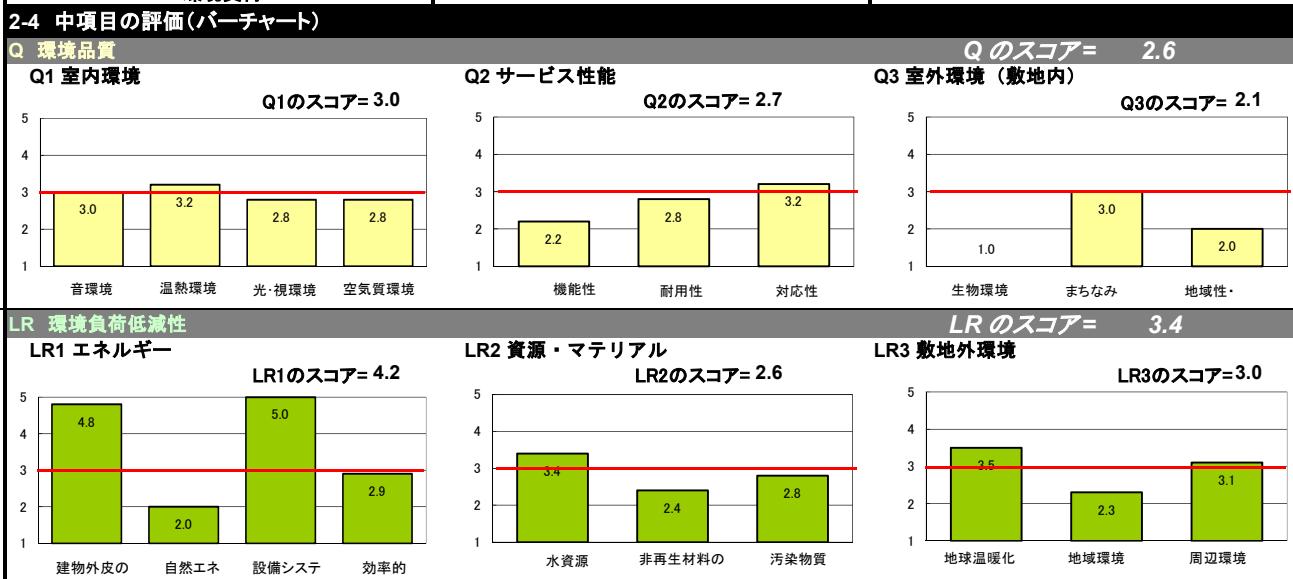
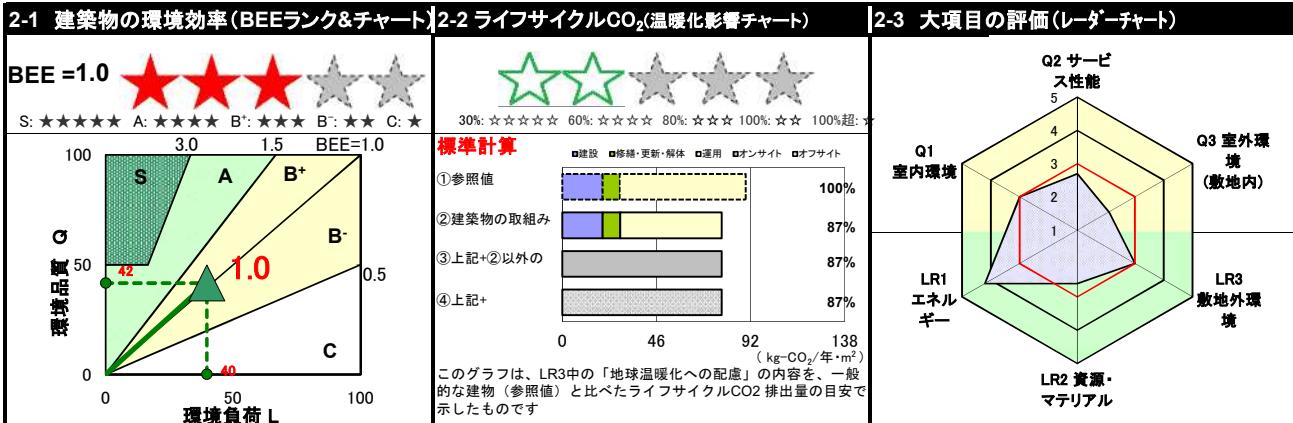


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮北口駅前深津町プロジェクト新築工事	階数	地上9F
建設地	兵庫県西宮市深津町179番、180番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	156人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年2月17日
敷地面積	1917.36 m ²	作成者	環境システム設計 黒田
建築面積	979.14 m ²	確認日	2023年2月20日
延床面積	7146.48 m ²	確認者	環境システム設計 馬場



3 設計上の配慮事項			
整合			その他
ゆとりある住空間を確保し、建物全体でZEH-M Orientedを取得するなど設備システムの高効率化も図っている。また、有害物質を含まない材料の使用や、耐用性・節水など、資源、環境にも配慮がなされている。			0
Q1 室内環境 外皮断熱性能は最大でもUA値0.58となるよう設計し、床の遮音性能もLL値45相当とし、室内空間の快適性を確保している。	Q2 サービス性能 共用部分においては、バリアフリーに配慮した計画がなされている。 住居部分においては、階高や荷重のゆとりが確保されている。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地としての空間の確保は難しいところはありますが、高木は死角とならないように配置し、低木を多用することで防犯に配慮している。 また、まちなみや景観に対し調和のとれた外観となってい	
LR1 エネルギー 建物全体のBEI値0.73となっており、ZEH-M Orientedを取得するなど、建物の一次エネルギー消費量を低く抑えている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用により節水に配慮している。 また、接着剤や塗料に有害物質を含まない材料を使用するなど、汚染対策にも配慮をしている。	LR3 敷地外環境 雨水・汚水等の処理にかかる負荷を低減するなど、地域インフラに配慮している。 広告照明なども行わず、光害対策も行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される